

# 随時更新中！

Instagram、Facebook、Twitterのアカウント運営を始めております。  
SNSを利用している方はぜひ各アカウントをフォローしてみてください！

 **HAGIHARA**  
萩原工業株式会社



 Instagram 公式アカウント  
@hagihara\_industries



 公式Facebookページ  
萩原工業株式会社



 @hagihara\_inds



## 第56期 中間報告書

平成29年11月1日～平成30年4月30日

証券コード：7856

萩原工業株式会社

株主のみなさまには、平素より温かいご支援、ご理解を賜り、心よりお礼申し上げます。  
第56期第2四半期の事業の概況についてご報告申し上げます。

### 業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、国際情勢やマクロ要因を起因とする海外経済の不確実性や原材料価格の変動リスクなどを抱えつつも、引き続き雇用・所得環境の改善の続く中で、緩やかな回復基調にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画（DH56）の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高126億58百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益14億13百万円（前年同四半期比7.9%減）、経常利益14億79百万円（前年同四半期比5.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億10百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

### 合成樹脂加工製品事業

人工芝関連（原糸）、バルチック関連（国内、海外）及び輸入フレコン袋が増加、粘着テープ関係及びブルーシート関係は、概ね前年並みで推移しました。その結果、全体では前年を上回る売上げとなりました。また、原材料価格や運賃等の高騰に対応して、製品値上げ活動を実施してまいりました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、フレコン袋、バルチック及びインドネシア国内向けPC袋とも、引き続き概ね順調に推移しました。中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、ブルーシート関連は概ね順調でしたが、それ以外は弱含み、収益低下となりました。

その結果、売上高95億66百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益9億93百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

### 機械製品事業

主力製品であるスリッター関連機器は、国内向けは軟包装系、光学系スリッター、検査巻直機及びラベル系スリッターが、海外向けは光学系特殊機及び電池系スリッターが、それぞれ順調でした。

海外軟包装系汎用スリッターは、主力市場であるタイ国は低調な動きとなりましたが、他の東南アジア諸国及び中国の軟包装系市場で戦略機種が順調でした。

ワインダー機器は、国内向けに特殊繊維、粘着基材用の需要がありました。

押出関連機器は、食品容器用、高機能フィルム用スクリーンチェンジャーが順調でした。リサイクル関連機器は、慎重な設備投資姿勢が続く中、老朽化対策を目的としたペレタイザーの更新需要がありました。

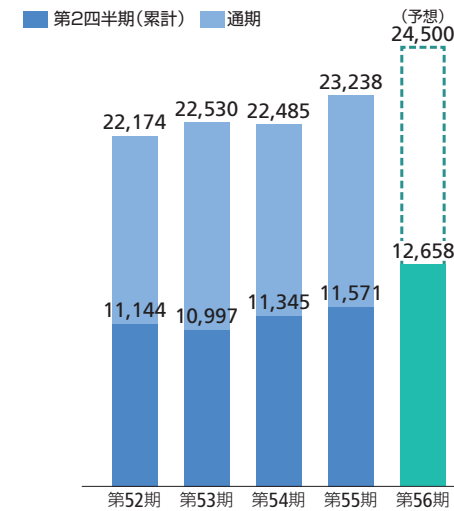
その結果、売上高30億91百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益4億19百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

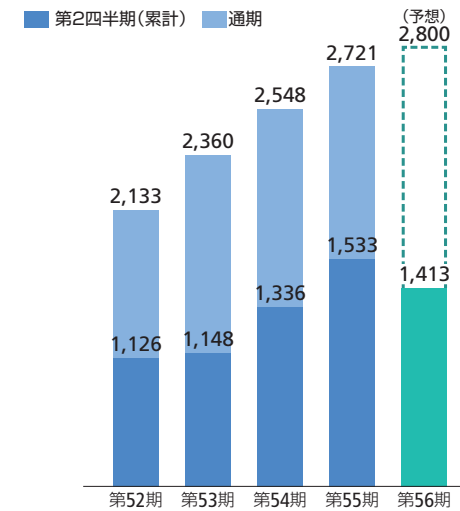


代表取締役社長 浅野和志

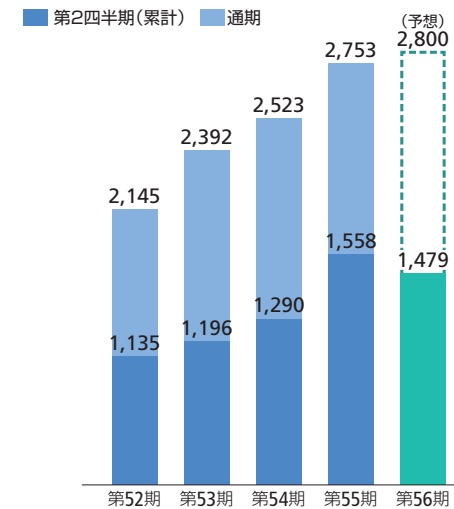
### 売上高



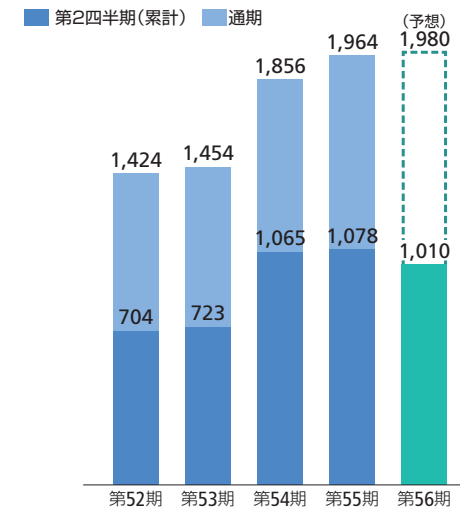
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 平成30年10月期 第2四半期決算サマリー(連結)

■ 売上高  
**126億58**百万円  
前年同四半期比 **9.4%**増

■ 営業利益  
**14億13**百万円  
前年同四半期比 **7.9%**減

■ 経常利益  
**14億79**百万円  
前年同四半期比 **5.1%**減

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益  
**10億10**百万円  
前年同四半期比 **6.3%**減

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期 平成29年4月30日現在	当第2四半期 平成30年4月30日現在	前期 平成29年10月31日現在		前第2四半期 平成29年4月30日現在	当第2四半期 平成30年4月30日現在	前期 平成29年10月31日現在
資産の部				負債の部			
<b>Point 1</b> 流動資産	17,180	18,044	17,761	<b>Point 3</b> 流動負債	6,112	6,616	6,025
<b>Point 2</b> 固定資産	9,273	10,121	9,352	<b>Point 3</b> 固定負債	1,355	1,119	1,244
有形固定資産	7,237	7,196	7,245	負債合計	7,468	7,735	7,269
無形固定資産	121	918	122	純資産の部			
投資その他の資産	1,914	2,006	1,984	株主資本	18,665	20,098	19,333
資産合計	26,453	28,165	27,114	資本金	1,778	1,778	1,778
				資本剰余金	1,393	1,393	1,393
				利益剰余金	15,890	17,324	16,559
				自己株式	△ 396	△ 397	△ 397
				その他の包括利益累計額	318	330	509
				その他有価証券評価差額金	29	30	34
				繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 1	0
				為替換算調整勘定	207	141	261
				退職給付に係る調整累計額	82	160	212
				非支配株主持分	1	1	1
				純資産合計	18,985	20,430	19,844
				負債純資産合計	26,453	28,165	27,114

**Point 1** 流動資産

流動資産は、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産が増加したこと等により前期末に比べて増加し、180億44百万円となりました。

**Point 2** 固定資産

無形固定資産が増加したこと等により前期末に比べて増加し、101億21百万円となりました。

**Point 3** 流動負債、固定負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加したこと等により前期末に比べて増加し、66億16百万円となりました。  
固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末に比べて減少し、11億19百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成28年11月1日 至平成29年4月30日	当第2四半期(累計) 自平成29年11月1日 至平成30年4月30日	前期 自平成28年11月1日 至平成29年10月31日
売上高	11,571	12,658	23,238
売上原価	8,043	9,024	16,349
売上総利益	3,527	3,633	6,889
販売費及び一般管理費	1,993	2,220	4,167
<b>Point 4</b> 営業利益	1,533	1,413	2,721
営業外収益	65	105	115
営業外費用	40	39	83
<b>Point 4</b> 経常利益	1,558	1,479	2,753
特別利益	12	6	12
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,570	1,485	2,766
法人税等	491	474	801
四半期(当期)純利益	1,079	1,010	1,965
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	0	0	0
<b>Point 4</b> 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,078	1,010	1,964

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point 4** 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

継続的な新製品の市場投入に加え、戦略製品へ積極的に展開した結果、営業利益14億13百万円、経常利益14億79百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益10億10百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成28年11月1日 至平成29年4月30日	当第2四半期(累計) 自平成29年11月1日 至平成30年4月30日	前期 自平成28年11月1日 至平成29年10月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,099	698	2,535
<b>Point 5</b> 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 353	△ 1,810	△ 848
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 359	△ 321	△ 326
現金及び現金同等物に 係る換算差額	22	△ 9	33
現金及び現金同等物の 増減額(減少：△)	408	△ 1,443	1,393
現金及び現金同等物の 期首残高	4,923	6,317	4,923
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	5,331	4,873	6,317

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point 5** 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規連結子会社EPC Holdings Pte.Ltd.の取得による支出14億45百万円等を主とする資金の減少で、18億10百万円の資金の減少となりました。



## 合成樹脂加工製品事業

### 葛（クズ）の繁茂を抑制する高強力ネットを開発

葛の繁茂力は驚異的で、気づいた時には電線に巻きついていたり、フェンスを乗り越えて道路や線路に這い出していたりします。家や車、標識やガードレールまで飲み込んでしまうこともあります。根が丈夫なため抜くことも枯らすことも困難で、簡単に駆除できませんでした。

そこで、駆除ではなく登ってこないように封じ込めてしまう方法を考え、高強力ネットを開発しました。このネットは、目合いが4mmのため風の通りを妨げず、また成長した葛は4mmの目を通ることができないためネットに絡まったり登ってくることができませぬ。強度があり屋外での長期使用にも耐えることができ、現在国内9ヶ所で施工されています。葛の被害は日本だけでなくアメリカでも深刻で、今後世界で葛の繁茂対策に活躍が期待されます。



葛の繁茂被害の様子



高強力ネットの施工例

## 機械製品事業

### スリッター事業の次なる挑戦

スリッター事業では、お客様の「使い易さ」をこれまで以上に追求するため、実務経験者をコンサルタントに迎えて構成機器の機能見直しと、産学連携によるデザイン工学を導入した基幹モデルの開発を進めています。また、海外の主力市場であるタイのバンコクにアフターサービスを中心とした拠点整備を進めており、それに伴いタイ人留学生も採用し、現在日本で様々な研修を行っています。

そして、市場・顧客ニーズの調査、新規顧客開拓、知名度向上などを目的に、国内外で積極的に展示会に出展しています。第56期上期では国内1回（東京）、海外4回（中国2回、インドネシア、ベトナム）の展示会に出展しました。スリッター事業をさらに拡大、発展させるため、製販一体で新機種、新技術を開発し、国内・海外の市場に積極的に販売してまいります。エンジニアリング事業の次なる挑戦にご期待ください。



## EPC Holdings Pte. Ltd. を子会社化

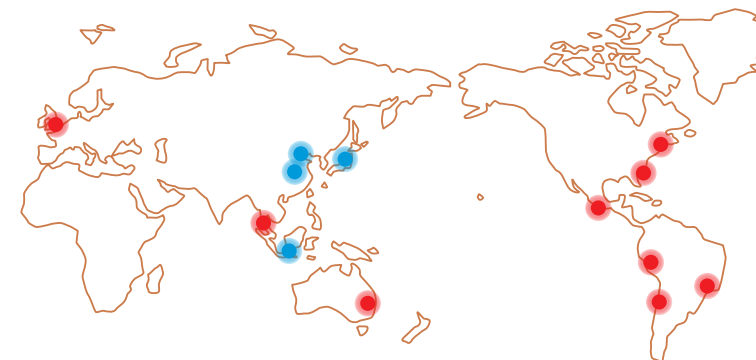
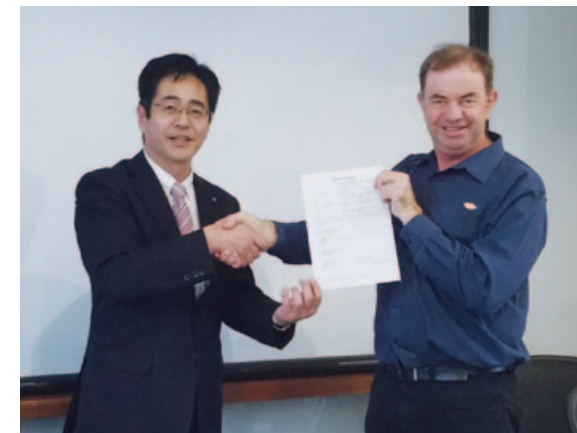
当社の主力製品であるコンクリート補強繊維「BarChip（バルチップ）」の更なる拡販を目的として、平成30年2月1日付でEPC Holdings Pte. Ltd.（EPC社）の株式を取得し、子会社化いたしました。

EPC社の販売機能を得たことにより、バルチップの製造から販売までを一貫して行うことができるようになりました。

今回の子会社化により海外の販売拠点が一举に9拠点増えることになります。これらの販売拠点を駆使しバルチップだけでなく、他の製品の拡販にも注力してまいります。

### EPC Holdings Pte. Ltd. の概要（EPC社）

設立	2007年9月
所在地	シンガポール
事業内容	豪州、欧州、北米、中南米に販売子会社を有する持株会社（バルチップの販売代理店）
売上高	2,967百万円（2017年6月期）
税引前利益	148百万円（2017年6月期）
取得価額	最大22.5百万シンガポールドル



### ● 今回新たに加わった拠点

- ・シンガポール
  - ・オーストラリア
  - ・アイルランド
  - ・カナダ
  - ・アメリカ
  - ・メキシコ
  - ・チリ
  - ・ペルー
  - ・ブラジル
- 計9拠点

● 既存の拠点

## 日本でいちばん大切にしたい会社大賞

このたび、第8回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞（人を大切にする経営学会らが主催）において、最高賞である「経済産業大臣賞」を受賞しました。

同賞は、従業員とその家族、仕入先、顧客、地域社会、株主など、人を大切にして人の幸せを実現する行動を継続している企業の中から、その取り組みが特に優良な企業を表彰するものです。

当社は、創業から現在まで社員の雇用と生活を第一にした経営をしてきたこと、正社員比率の高さに加え、「おもしれえ 直ぐやってみよう」の創業者精神が健在であること、社長室には全社員の顔写真があること、全社員の誕生日に社長直筆のメッセージカードを添えたバウムクーヘンをプレゼントしていることなどの取り組みが高く評価されました。

今回の受賞に慢心せず、これからも社員一丸となって当社の社会的使命を果たすべく、新たな価値の創出に努力してまいります。



平成30年3月16日法政大学市ヶ谷キャンパスにて、萩原邦章会長が表彰式に出席し、基調講演を行いました。



## 繊維のまち倉敷と萩原工業

### 倉敷の繊維産業が日本遺産に

平成29年4月28日に倉敷市の繊維産業の成長ストーリー「一輪の綿花から始まる倉敷物語 ～和と洋が織りなす繊維のまち～」が文化庁の日本遺産に認定されました。

倉敷では今もなおジーンズや学生服といった繊維産業が盛んに行われています。

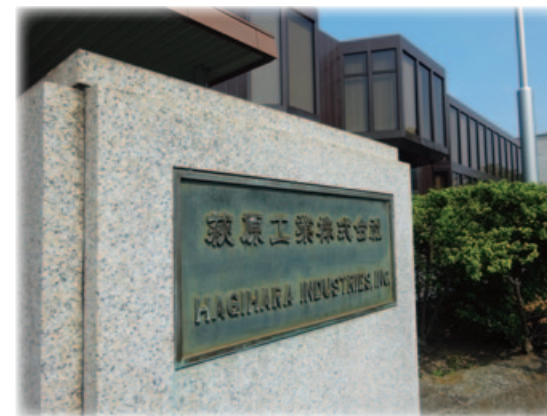


### 萩原工業の誕生

当社が位置する岡山県倉敷地区はかつては大小様々な島が点在する海でした。干拓地となってからは綿、イ草を用いた足袋やゴザを中心とした繊維産業が発展しました。

明治以降、西欧の文化を取り入れながら発展した倉敷の繊維産業の中で、1892年に萩原工業の生みの親となる萩原商店が誕生しました。萩原商店ではアメリカ向けの花筵の製造を行っていました。ゴザを織る際に使用する綿のタテ糸を安価なポリエチレン製の糸で代用できないか？という考えから、ポリエチレン製の糸を作る工場を建設しました。これが後の萩原工業となるのです。

これからも先代から受け継ぐ「おもしれえ 直ぐやってみよう」の心を大切に社会に貢献するモノづくりに取り組んでまいります。





## ■株式に関する事項

(平成30年4月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	14,897,600株
単元株式数	100株
株主数	4,787名

## 大株主（上位10名）

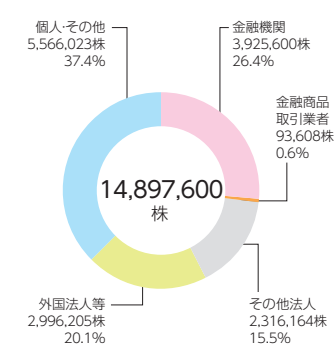
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	1,435	9.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,004	6.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	868	6.00
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	565	3.90
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	534	3.69
萩原邦章	524	3.62
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	460	3.17
萩原工業従業員持株会	429	2.97
日本ポリケム株式会社	400	2.76
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	342	2.36

(注) 1. 当社は自己株式430,980株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

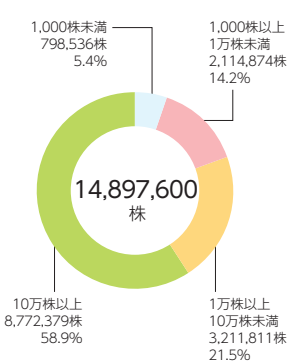
## ■株式分布状況

(平成30年4月30日現在)

## 所有者別株式分布状況



## 所有株数別株式分布状況



## ■会社概要

(平成30年4月30日現在)

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地 TEL.086-440-0860 FAX.086-440-0869
設立	昭和37年（1962年）11月29日
資本金	17億78百万円
従業員数	463名
主な事業内容	ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

## ■役員

(平成30年4月30日現在)

【取締役】				
代表取締役会長		萩原	邦章	
代表取締役社長	社長執行役員	浅野	和志	
取締役	専務執行役員	田中	稔一	
取締役	常務執行役員	笹原	義博	
取締役	執行役員	吉田	淳一	
取締役	執行役員	松浦	正幸	
社外取締役		中原	裕二	
社外取締役		秋草	史幸	
【監査役】				
常勤監査役		金光	利文	
監査役		石井	辰彦	
監査役		三宅	孝治	

## 【執行役員】

執行役員	飯山	辰彦
執行役員	藤田	学
執行役員	國定	佳孝

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	7856
事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月
基準日	定時株主総会 10月31日 期末配当 10月31日 中間配当 4月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 当社ホームページアドレス <a href="http://www.hagihara.co.jp/">http://www.hagihara.co.jp/</a> ※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777（通話料無料）

## 株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。